

日本手話の文法を学ぶ（2）

講座概要

本格的に学ぶ機会がなかなかない日本手話の文法。本講義は、日本手話の基本的な文法について、わかりやすい動画解説を視聴したあと、文法問題に取り組むeラーニングです。受講期間は3ヶ月ありますので、ご自身のお仕事等の都合に合わせて学習に取り組んでいただけます。中上級レベルの手話を学習している方、手話通訳者を目指す方、現役手話通訳者で日本手話の通訳技術を高めたい方、手話教師、聴覚障害児・者の教育及び支援に関わる方にお勧めの講義です。学生は無料となります。

※昨年度の「日本手話の文法を学ぶ（2）」の確認問題の一部が新しくなりました。また確認問題の解説にこれまでにあった質問回答を追記しました。受講期間中いただいた質問には講師から丁寧に回答いたします。

※動画は手話で解説し、音声と字幕がついています。

※初心者の方には、「手話とろう文化」の受講をお勧めします。

実施責任者：共同教育学部 特別支援教育講座 教授 金澤貴之

日程	講義内容	講師
8月1日(金)～11月28日(金) 随時受付 eラーニングシステム登録後 3ヶ月間受講可能	【コンテンツの文法項目】 文末の指さし、受け身の表現、テンスとアスペクト、空間の利用、モダリティ、動詞連続構文、接続表現、文末コメント、関係節と補文構造、CL表現、RS表現、使役文 ※動画の視聴のみであれば2.5時間、文法問題（任意）まで取り組む場合は約15時間を要します。	共同教育学部 特別支援教育講座 准教授・中野聡子 共同教育学部 特別支援教育講座 助教・下島恭子